

宗像市市民参画等推進審議会 会議録（要点筆記）

日時	令和2年11月5日（木）10:00～12:15
場所	宗像市役所 202会議室
委員	■ 岡田智子 ■ 大賀雄史 ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成 ■ 種田明美 ■ 福岡佐知子 ■ 東博子 ■ 山田明 ※■出席 □欠席（五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課（宮野主幹、中脇係長、成瀬、大久保、佐藤）

1. はじめに

（東会長あいさつ）

・本日は、市民サービス協働化提案制度の審査会に向けた事前学習会ということで、初めての方もいると思うが、率直な意見を述べていただきたい。また、市民公募のあり方等にかかる諮問について、昨年度作成した「宗像、カタロウ」のダイジェスト版について、令和2年度福岡ブロック社会教育研修会のオンライン配信についてなど2時間ほど協議があるのでよろしくお願ひしたい。

2. 市民サービス協働化提案制度、市民公募のあり方等にかかる諮問

・宮野主幹から東会長へ諮問書を手交。

3. 協議事項等

（1）令和2年度（令和3年度開始コース）市民サービス協働化提案制度の審査方法等について

・事務局から資料に基づき説明。募集要項、審査の方法、答申までのスケジュール等を確認。

（2）個別提案（2件）の詳細等について

子ども支援ネットワーク WithWind

担当課：子ども育成課

子ども育成課から提案団体の概要、提案事業の内容等について説明。

<<質疑応答等>>

（質疑）提案団体は、何度当制度を利用しているか。

（回答）平成25年度に市民サービス協働化を提案し、2度採択されている。

(質疑) 現在、市として提案団体の活動・成果に満足しているか。今後、改善すべき点はあるか。

(回答) 多くの事業をお願いしているが、適切に事業をしてもらっている。今後の課題としては、団体だけで子どもの居場所作りを行うのではなく、子どもたちの身近な地域で、地域が主体となって子どもの居場所を作れるように、団体には働きかけを行ってほしい。

(質疑) 提案事業の市の令和3年度予算は、350万円で、昨年度より90万円程度減額しているが、なぜか。

(回答) 今まで、プレーパークでスタッフの人数を多く配置していたが、団体の技術の向上により、人数を減らして運営が可能になったため、人件費分を一部減額した。

(質疑) 本当にこの額で活動が行えるのか。また、支出計画書の旅費のところでは東京から講師を呼ぶことになっているが、その人でなければならない必要性は何か。

(回答) 市では把握していないが、東京で子どもの居場所作り事業を先進的に行っていると聞いているため、それが理由として考えられる。審査会の際に団体に直接確認して頂きたい。

(質疑) 市の担当課として、予算等確認すべきでないか。

(回答) 承知した。

(質疑) 人件費の積算が時給850円は安すぎるのではないか。

(回答) 来年度予算から時給900円としている。

(質疑) 支出計画書の減額に関し、市の圧力がかかっているのでは。

(回答) 予算を算出する際には、財政課と協議をする。その途中経過を団体に報告しているため、団体がそれに合わせて予算を出している。圧力をかけているわけではない。予算よりも低く抑えようということも行っていない。

(質疑) 審査会のときに、団体に確認したい事項が2点ある。1点目は、当事業が虐待防止やいじめ防止につながっているというところの詳細を聞きたい。2点目は、提案事業企画書の期待される効果の欄に記載のある、各小学校校区に1ヶ所のプレーパークの設置目標を掲げているが、まだできていない小学校校区があるという部分で、まだできていない小学校校区に対して今年度どのような働きかけをおこなっていくのかを聞きたい。

(回答) 承知した。1点目については、団体と子ども育成課、子ども支援課等が連携を取りながら対応しているが、詳細は、審査会の際に団体から説明してもらおう。

(質疑) 市として団体の活動をどのようにPRしているのか。

(回答) 毎月15日号のタウンプレス、市のHPや団体のHPに掲載している。また、小学校校区で事業を実施する場合は、校区内の小学校にチラシを配布している。

住まいと暮らしの情報センター 住マイむなかた

担当課：建築課

建築課から提案団体の概要、提案事業の内容等について説明。

<<前回審査時の特記事項等及びそれに対する対応状況について建築課から説明を行った。>>

- ・「今後も実施にあたっては、透明性と公正さの確保に努めてください。」
- 公正さについては、必ず市に登録している指名登録業者の中から市が選定している。透明性についても、派遣員に対して秘密を保持するよう規約を設けている。
- ・「提案団体に依存しすぎないようにし、対等の立場で協働するよう留意してください。」
- 留意している。市営住宅入居者から電話があった場合は、派遣職員と市職員で伺うようにしている。対等の立場で協議し、設計書を作成するようにしている。
- ・「協働委託が登録会員の技術向上につながるようにしてください。」
- 毎年、派遣員に対して研修会を行っている。

<<質疑応答等>>

- (質疑) 現在、市の職員の中で一級建築士は何人いるのか。業者から提出された見積りや設計等をきちんと確認できているのか。
- (回答) 一級建築士は3人いる。見積りや設計等もきちんと確認できている。また、見積りは3者に取り、金額が高くなりすぎないようにしている。
- (質疑) 市営住宅入居者から市が要望を受けた場合、担当した事業者に内容を伝えることはしているか。
- (回答) 基本的に市から要望内容を事業者伝えていない。
- (質疑) 業者の対応が悪いという指摘があった際の対応もしていないのか。
- (回答) 前回入居者の満足度調査を行うのはどうかという提案があったが、アンケートは事業者と施工業者で分かれているためわかりにくいということで、直接市営住宅の代表者から、住マイむなかたの対応についてヒアリングを実施した。その際、特に問題はないという回答を得た。
- (質疑) 市営住宅入居者から要望等は市に届かないのか。
- (回答) 市に要望等が来た場合は、事業者や施工業者に話を聞いて問題を解決するようにしている。
- (意見) 市の対応は良かったが、業者の対応が悪かったという話を以前聞いたので、お伝えした。税金で行っている事業なので、きちんと指導をすべきではないか。
- (回答) 承知した。
- (意見) 施工が終わった後に、入居者にアンケートを取るのはいかがか。データをとるという面でもいいのではないか。
- (回答) 検討する。

(3) 市民公募のあり方等にかかる諮問について

- ・事務局から第一回専門部会で出された意見等について説明。

(市民公募について)

- ・今後、無作為抽出による事前登録などについて他の市町村の状況を調査する。

(パブリックコメントについて)

・市民から意見が出るのを待つのではなく、関係団体に意見提出を呼び掛けていくことも必要ではという意見、パブリックコメントを実施する担当課に対してサポートを行う担当をつくってはどうかという意見があがった。

(職員研修等のあり方について)

- ・他の市町村の状況を調査して、専門部会で確認してもらい、それから審議会全体で確認していただく。

(質疑) 職員研修の現状のところ、市民と職員の間には摩擦が生じるとあるが、例えばどういう事例があるのか。

(回答) パブリックコメントに関連しているが、せっかく市民が意見を出しても担当課の回答の仕方が丁寧でない、という意見が市民から出ているので、そこを踏まえてこのような書き方をしている。

(質疑) 現在、パブリックコメントの収集の方法はどのようにしているのか。

(回答) 市の HP、メール、ファックスで受け付けている。

(事務局) 現在、市でパブリックコメントを実施する意味を理解していない職員もいるようなので、研修会等を開催し、パブリックコメントを実施する意味を理解していただきたい。

(意見) 広報にパブリックコメントの募集が出る際に、概要しか載っていないので、内容も載せれば、わかりやすいのではないかと。どのような意見を求めているのかなども記載していただきたい。

(意見) 市民説明会も積極的に行ってほしい。

(4) 宗像、カタロウダイジェスト版について

- ・事務局から宗像、カタロウダイジェスト版について説明。

修正点があれば、11月12日(木)までにアドバイスシートを提出していただきたい。

(意見) 宗像、カタロウの本冊子もダイジェスト版のように修正してもらいたい。見出し等がある方が、見やすいと思う。

(5) 令和2年度福岡ブロック社会教育委員研修会について

- ・事務局から社会教育研修会について説明。

本審議会の山田副会長、佐藤委員にも講演していただいたので、ぜひDVDもしくは、ユーチューブで見たい。

アンケートもお配りしているので、回答をお願いしたい。

(意見) 山田副会長の講演は、大変勉強になったので市の職員にも見てもらいたい。

（質疑）これまでの研修会とは違い、コロナ禍での動画配信によるであったが、研修会はどうだったか大賀委員にご意見を頂きたい。

（回答）前回は学校を中心とした地域づくりに焦点を当てていたが、今年度は、社会教育委員とはどんな働きをすべきかを学ぶことができた。社会教育主事という立場ではあったが、熱い思いをもらうことができた。実際の評価はアンケートで見えてくるが、自分の意見としては、心に火をつけてもらえるような講演であった。

（意見）例年の参加者は、110名ほどであったが、今回は198名参加申込があった。例年、平日の昼間に開催しているため、今回は動画配信による開催で参加しやすかったのではないかと。

（事務局）後日、ZOOM を使って大賀先生をコーディネーターとして、講演者の山田副会長、発表者の佐藤委員にご参加いただき意見交換を行う予定である。詳細が決定し次第、ご案内させていただきます。

< 散会 >